

青森 LOVERS 9

Web連動企画

私が 田村 昌弘 (函館) です。

プランナー



〈たむら・まよひる〉 1971年、函館市生まれ。弘前大卒。函館市役所勤務などを経て2007年からフリーランス。オフィス「オリゾンテ」

代表「函館西部地区バル街」「世界料理学会 in HAKODATE」運営など地元料理人の活動をサポート。「だいまん路地裏探偵団」主宰

リアル青森

青函交流増やしたい

「青函はもつといろんなことができる。人がつながれば、もっと面白くなる」。函館で食や観光を通じたまちづくりに関わる。2004年に函館で誕生し、今や全国数百カ所

で開かれる食べ飲み歩きイベント「バル街」をはじめ、国内外のトップシェフが調理技術や思想を語り合う「世界料理学会 in HAKODATE」を09年から運営。函館

の食をPRするカレンダーも制作し、15、16年版では本県の食材も取り上げた。函館のバル街は春と秋の2回。一晚に5千人がマップ片手に旧市街に繰り出す。その

ながら、地域での暮らしがや役割分担を見て聞いて、茂森の人たちに育てられたのが自分の原点。帰郷し函館市役所に勤務してからも、各地でまちづくりに関わる人たちと交流しながら地道に人脈を広げた。13年からは、弘前生まれの街歩きツアー「弘前路地裏探偵団」をのれん分けしてもらった「だいまん路地裏探偵団」も主宰。「自分たちが楽しんで活動していれば、自然と人がつながり、次につながるのが面白い」と熱っぽ。

所に地元の人が徐々に足を運ぶようになり、地元の良さにあらためて気付いた。バル街は青森や弘前、五所川原など本県各地にも定着。世界料理学会に県内の若手シェフが参加するなど、青函の料理人同士の交流も広がっている。「声を掛けるといつでも行くし、来てくれる絆が生まれた。いずれは津軽海峡圏規模で学会を開きたい」と目標を掲げる。

弘前大学人文学部時代、フィールドワークで弘前市茂森町に通い、町内会やねぶた、消防団の活動にのめり込んだ。「毎晩一緒にお酒を飲みますよ」 (長尾有里子)

2016年(平成28年)

12月11日

日曜日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					3	4
					5	6
					7	8
					9	10
					11	12
					13	14
					15	16
					17	18
					19	20
					21	22
					23	24
					25	26
					27	28
					29	30
					31	

ニュースはウェブ東奥 検索



〒030-0180 青森市第二問屋町3丁目1番89号 © 東奥日報社 2016



TO-O DIGITAL 東奥デジタル

